

根っからの議会人



◆調査・発言・報告のスタイルを貫いて32年

議員の仕事は行政のチェック、市民の要望実現と議会活動。本会議での予算・議案に対する質問、討論などの発言回数は32年間トップクラス。自他ともに認める茨木市議会の質問王として活動してきました。

◆「お元気ですか」が307号に

初当選から議会報告や市民運動、イベント、日々の思いなど伝えてきた「お元気ですか」が今回で通巻307号を越えました。

**シッカリ調査
バシッと発言**

キッチンと報告

◆山下ブログが閲覧数154万回になりました

ブログは6年余り毎日更新。市議会、脱原発、学校給食、障がい者運動など山下が関わっている活動、イベント紹介、日々の動きをつづっています。

12月10日で閲覧数は154万回、訪問者も38万8千人を超えています。ホームページ「お元気ですか」は山下に関するもの全てが詰まった図書館です。ぜひブログ、ホームページをご覧ください。ツイッター、フェイスブックも始め、多くのフォロワー、友だちと情報交換しています。

なんでも賛成では市民の利益は守れない 議会でも取り組んできたこと

◆公共施設駐車場の有料化に反対。特に障害福祉センター（ハートフル）は有料化が赤字を招くと指摘しました。その後、有料化した31施設のうち17施設が赤字であると追及。市はハートフル駐車場を無料に戻し、その他の施設も見直しを進めています。



◆行政委員（教育、選管、農業などの委員）への月額報酬は地方自治法違反であり日額に見直しをすべきと指摘、市は日額に改善。高額のままの報酬は見直しを求めています。

◆保育所の民営化に際し、倒壊、崩壊の危険性が高いのに耐震

補強をさぼっていた事例、引継ぎの選考で3年連続漏れた法人だけが応募し決定される不自然さを追求しました。

◆人権が世界的な課題である時代に逆行して人権部を廃止することに反対しました。

◆傍聴者に対して配布している議事日程、議案書、参考資料、事務報告を取り上げている教育委員会の姿勢を追及、改善させました。

◆1社だけの地方記者クラブに庁舎の便宜供与はおかしいと追及、廃止させました。

◆携帯電話の中継基地局、アンテナ局の実態を明らかにし電磁波の危険性を指摘しました。

◆子宮頸がんワクチンの必要性、副作用などの問題点を指摘し、税金投入に反対しました。



めざします げんき茨木

いのちとくらし 最優先



平和、主権在民、基本的人権尊重の日本国憲法が私の政治活動の原点。憲法を生かして市民のいのちとくらしを大切にする市政をめざします。

府や国のいいなり市政や自治破壊の道州制は許しません。茨木の個性を大切にする市政、お上意識をなくし市民サービスの充実をめざします。

原発放射能は最悪です-反原発30年-

今もって東京電力福島第一原発からは高濃度の放射性物質が垂れ流され収束の目途は立っていません。私たちは否応なくいのちと健康を守るため原発・放射能への対策をとらなければならない時代に生きています。

私は30年間原発の危険性を指摘してきました。

これからも市民運動を広げながら、子どもたちの甲状腺がんを防ぐための安定ヨウ素剤の備蓄、学校給食食材の放射線量の測定と安全な給食の提供、関西電力にPPS（特定規模電気事業者）も含めた電気料金の競争入札による経費削減、市独自のエネルギー政策を検討し脱原発を進めます。

これまで「再稼働反対、全ての原発をゼロに」茨木金曜日行動、「ミツバチの羽音と地球の回転」、「内部被ばくを生き抜く」上映会、脱原発1000万署名、原発を考える市民の集い、脱原発のぼり4駅アピールランに取り組んできました。



誰もが人間らしく生きられるまちをめざします -競争より共生-



障がい者も
地域で生きたい

高齢者が集い楽しめる場所作り、地域での見守り体制を充実させ、孤立や孤独死を防ぎます。

取り組みたいこと

- 小学校は自校炊飯方式、中学校は完全給食を進めます。
- 「弁当の日」の試行から定着を図り、食育の充実をめざします。
- 行政委員（教育委員日額3万円など）報酬と管理職手当等は減額し、非正規職員の条件を改善します。



レインボーは平和・多様性・共存のシンボル

4駅をアピールランしています